

人権かるた



「人権かるた」について

私たち「人権教育推進のための調査研究委員会」では、平成20年度に文部科学省の委託事業を受け、一人一人が大切にされる社会を目指して、「人権かるた」を作ることになりました。

そこで、毎日の生活の中で、心温まること、感じていることを「5・7・5」の標語にして送っていただこうと、呼びかけました。

多くの皆様が呼びかけに応じてくださり、沢山の標語が集まり、大変感謝しています。ご応募いただいた作品には、どれも人と人との温かいふれあいが表現されています。

集まった2512首の標語の中から、46首の標語を「人権教育推進のための調査研究委員会」で選び、「人権かるた」を作成することができました。地域で、学校で、そしてご家庭で、このカルタを多くの方に使っていただきたいと思います。

2009.1.18

人権教育推進のための調査研究委員会

一人一人が大切にされる社会めざして

人権、というとちょっとかたくて難しいイメージがあるかもしれません。でも「一人一人が大切にされる」と考えると、難しくないと思います。この「人権かるた」は、「挨拶をされて気持ちよかったな」とか、「やさしい人がいるな」といった毎日の生活の中で感じられる、心温まるできごとなどをもとにつくられています。



～ ありがとう みんな笑顔に なる言葉 ～

「ありがとう」という言葉で、やさしい行為をしてくれた人もされた人も、みんながいい気持ちになり、笑顔になっていくんだよ。
「ありがとう」の言葉はいいね。

小学校1年生のこの標語には、上のような気持ちが込められていると思います。

かるたを一つ一つ読むと、その中には、人のやさしさがたくさん詰まっているように感じます。

みんなでいっしょにかるた遊びをすることで、自然に人のやさしさにふれることができると思います。

そして、「人権かるた」の標語のように、挨拶をしたり、なかよく遊んだり、人にやさしくしたい、と思うようになるといいと思います。



2512首の標語の中から46首を選びましたが、「人権かるた」に選ばれなかった作品の中にも、たくさんたくさん、人のやさしさをうたったものがありました。応募いただいたすべての作品を使えなかったことを、とても残念に思います。最後に、標語に合った温かな絵を描いて下さった宮脇さんに感謝いたします。

人権かるた 読み札一覧

五十音	読み札	作者
あ	ありがとう みんな笑顔に なる言葉	小学1年生
い	いやがらせ されて気づいた 相手のいたみ	中学2年生
う	うれしいな ドアをおさえる あなたの手	小学6年生
え	笑顔はね みんなの心を つなぎます	小学6年生
お	お年寄り 今度はぼくが やさしくしたい	小学5年生
か	かざらずに 自分らしく 生きていく	中学1年生
き	教室の 一人ぼっちを なくそうよ	中学1年生
く	くじけそう 仲間といっしょに がんばれた	小学5年生
け	敬老に 孫から届く メッセージ	一般
こ	困ったら お互い様だよ 助け合い	中学1年生
さ	さあどうぞ ゆずりゆずられ ハッピーデー	小学5年生
し	白いつえ 教えてあげる 点字道	小学5年生
す	すぐそばに 助けてくれる 人がいる	中学2年生
せ	世界中 手をつないだら 平和の輪	小学5年生
そ	それいいね 人の意見も 大切に	中学3年生
た	大切に 自分の名前 一人だけ	小学4年生
ち	聴導犬 耳の代わりに がんばっている	中学3年生
つ	伝えよう 心あたたまる 感謝の気持ち	一般
て	手伝うよ 心がかよう 手が動く	一般
と	友だちと 並んで歩く 帰り道	小学5年生
な	仲間って 一生ものの 宝物	小学5年生
に	人間は やさしい心 持っている	小学5年生
ぬ	ぬかされても お先にどうぞ ゆずりあい	小学5年生
ね	ねえちよっと いじめなんかして 楽しいの？	小学5年生
の	野の花の 美しき姿 それぞれに	一般
は	話そうよ やさしい言葉で みな笑顔	一般
ひ	人はみな 言葉がちがえど 同じ人	中学3年生
ふ	ふと気づく 人のやさしさ 思いやり	高校2年生
へ	偏見を なくす努力が 社会の宝	一般
ほ	ほっとする やさしい言葉と きれいな言葉	一般
ま	負けないで 君の笑顔が 応援団	小学3年生
み	みんなとは ちがっていいよ あたりまえ	小学4年生
む	胸のうち 話して楽に なる心	小学4年生
め	メールよりも 会って伝える 感謝の気持ち	一般
も	もう一度 君のところへ ありがとう	小学4年生
や	やめようよ 勇気を出して 言ってみよう	小学3年生
ゆ	ゆずり合う 心がつくる 明るい社会	小学5年生
よ	よく話し いつも仲よし 家族の輪	小学4年生
ら	らんぼうな 言葉は自分も きずつける	小学2年生
り	理解しよう 人の心の いたみをね	小学4年生
る	ルールには ひとつひとつに 意味がある	中学生
れ	連絡を 取り合い家族は いつでもいっしょ	一般
ろ	論より実践 人権守る	一般
わ	輪のように みんなの心 つなごうよ	小学6年生
を	人権を 守る決意を 語り合おう	一般
ん	ん いいよ うなづく君の あたたかさ	一般

人権かるたの遊び方（例）

- 1 手はひざの上、または床の上に置きます。
全員がその状態になったら、読み手が札を読み始めます。
- 2 「を」のふだは、「を 人権を 守る決意を 語り合おう」のように、「を」と言ってから、札を読みましょう。
- 3、お手つきは、1回休みにします。
- 4、同時に札に手をついたときは、年少者が優先、同じ年なら枚数の少ない方、それでも同じなら、ジャンケンで負けた方がかるたを取るようにします。
- 5、取り終わったら、数を数えますが、順位はつけません。
- 6、取り終わったら、自分の取った札や読み札をながめて、どの札が心に残ったか振り返って見ましょう。
(例：かるたを取り合ったグループの中で発表し合う。)

〈人権教育推進のための調査研究委員〉

国立信州高遠青少年自然の家	松村 純子
	藤森 宏一
伊那教育事務所生涯学習課	小林 久通
飯田教育事務所教育課	本村 栄次
松本教育事務所生涯学習課	中村 博見
伊那市伊那公民館	吉澤 達也
諏訪市教育委員会生涯学習課生涯学習係	茅野早映子

問い合わせ先

〒 396-0301 長野県伊那市高遠町藤沢 6877-11
国立信州高遠青少年自然の家
TEL 0265-96-2527 FAX 0265-96-2151
ホームページ <http://takato@niye.go.jp/>
E-mail takato@niye.go.jp

本かるたの著作権は、人権教育推進のための調査研究委員会及び文部科学省に帰属しています